

令和6年度第2回城東区教育会議 議事要旨			
日時	令和7年3月24日(月)19時～20時30分	場所	城東区役所1階 101・102・103 会議室
出席者	教育会議委員、区内小中学校幹事校長 城東区長、城東区副区長、子育て教育担当課長、子育て教育担当課長代理		
内 容			
報告案件	[主な質問と区の見解] ○:委員、●:区長、オブザーバー 【令和6年度区事業の進捗状況について】 【令和7年度運営方針(案)及び関連予算(案)について】 ○こどもサポートネット登録人数は毎年増加しているが、1年間の中での推移はどのようなものか。 ⇒●進級時や長期休み後に登録が増える傾向。(課長代理) ○SSR、こどもサポートネット登録人数ともにニーズがあって登録人数が増えていることは良いが、むしろ利用しなくていい状態になり減っていくことが理想だと思う。 ⇒●多様性を尊重する中で、学校に行く、教室で過ごす以外の選択肢が増えてきており、それらの敷居が低くなり子どもたちが利用しやすくなってきているものと認識している。個々様々なケースがあるため、数字を見るだけではなく、学校と連携しながら適切に対応していきたい。(区長) ○SSRの利用数のどのようにカウントしているのか。 ⇒●同一人物も1回利用ごとに1人としてカウントしている。(課長代理)		
議 題	[主な質問と区の見解] ○:委員、●:区長、オブザーバー 【城東区におけるいじめ・不登校対策事業について】 ○いじめの問題について、学校や教育委員会事務局へ相談したが解決に至らなかった場合、ほかに相談できる機関はあるのか。 ⇒●区役所においても、いじめについての相談を電話やメールで受ける仕組みがあり、相談が寄せられた場合は、本人の了解のもと学校と共有しながら適切な対応を進める。 また、区役所に勤務するこどもサポートネットのスクールソーシャルワーカーは、学校でのいじめの相談において、学校からの依頼で保護者の気持ちなどを聞き取るという役割をすることもある。学校以外の相談先として、区役所保健福祉課子育て教育担当に相談いただきたい。(課長) ○中学生サミットの事例にもなっているようなSNSの問題は、どこでも起こりやすいことなので、生徒会だけでなく、小中学校の全生徒を対象に取組みを実施してほしい。 ⇒●今回の事例作成にあたり、城東区スクールロイヤー(弁護士)に協力いただいたが、スクールロイヤーもSNSの使い方などに関して強く問題意識を持っておられた。各学校でもスマートフォンの使い方などについて取り組んでいると聞いている。保護者向けの講習会をやっている区もあるので、今後の取り組みの参考にする。(区長)		

	⇒●城東区スクールロイヤー事業において、弁護士が各学校へ訪問し、子どもたちを対象に様々な問題について講義などを行う「児童生徒出前授業」を実施しているので、取り組みの一つとして各学校で活用いただけたらと考えている。(課長) ●SNS のトラブルは表面上で分かりづらい部分があり、保護者から相談受けることも多い。中学校では、携帯電話会社が実施するスマートフォンの正しい使い方についての講座を全学年の生徒が受講している学校も多い。(校長) ●中学生サミットは、生徒会の代表生徒が参加するが、そこで学んだことを学校でもフィードバックしているということなので、小学校との交流の中で共有できる機会があれば良いと感じた。 本校のスクールサポートルームについて、更生保護女性会の方々がボランティアで室内の装飾をしてくださったおかげで、すごく温かみのある雰囲気になり、これまで保健室で過ごしていた児童も利用できるようになった。 JOTO ふらっと教室の通所を本校児童も利用させてもらっている。少人数だとよいが集団の中では情報処理がしんどい児童もいる。学校だけではできないことも多いのでありがたい。(校長) ○昔に比べて不登校の子どもへの支援が非常に充実していると感じている。子どもだけでなく、保護者もサポートするような仕組みがあれば良いと思う。
資料	【資料 1】 令和 6 年度城東区教育・子育て支援関係事業一覧 【資料 2】 大阪市子どもサポートネット事業の実施状況 【資料 3】 スクールサポートルーム（SSR）の整備・運用状況 【資料 4】 令和 7 年度城東区運営方針（案）【概要版】 【資料 5】 令和 7 年度城東区運営方針 主な具体的取組み（案）（抜粋） 【資料 6】 不登校児童生徒支援事業（JOTO ふらっと） 【資料 7】 不登校児童等への効果的な支援事例（非公開） 【資料 8】 第 4 回「城東区中学生サミット～いじめについて考える～」